

花野たより

NPO法人阿蘇花野協会会報誌
VOL. 54号 2021年8月31日発行

2021. 秋号

理事長挨拶

新理事長就任のご挨拶 山中 守 熊本大学名誉教授

活動報告

令和3年度 夏の阿蘇野の花観察会 7月3日(土)

盛夏の阿蘇野の花観察会 8月8日(日)

参加募集

令和3年度 秋の阿蘇野の花観察会 9月11日(土)

令和3年度 草刈り、草集め、防火帯作り 9月~10月

ノヒメユリ (撮影 2021.7.26)

環境省絶滅危惧Ⅱ類

花径は4~5cmとユリの仲間では最も小さく、茎の先に花を段々に付けます。ヒメユリが上を向いて咲くのに対しノヒメユリは下を向き、満開になると花弁が外側にめくれたように反り返るのが特徴。阿蘇花野トラスト周辺では初めて確認しました。18年に及ぶ保全活動の嬉しい結果です。



新理事長就任のご挨拶

山中 守 熊本大学名誉教授

プロフィール

1948年兵庫県生まれ。九州大学大学院博士課程終了。九州大学博士（農政経済学）。アメリカ系コンピューター企業の開発本部に勤務。1980年から熊本の地で大学に勤務し、自然と情報社会の共生システムの在り方について取り組む。現在、熊本大学名誉教授、コンピューター企業（東京）本社顧問など。単著：『山中守』地域情報化で地域経済を再生する』NTT出版、2013年、山中守『社会的共通資本としての草原』（大学紀要）2020年など。

日ごろから認定NPO法人阿蘇花野協会の活動にご協力いただき有難うございます。この度、初代理事長・潮谷愛様様の後を継ぐことになりました山中守と申します。発足時から参加しておりますが、これまで同様によりしくお願い致します。

魅力ある阿蘇の草原は、火山（自然）と農牧畜業などの経済活動との共生により維持されてきました。ここを舞台として夏目漱石の小説『二百十日』（明治39年）が書かれ、さらに多くの文化人が思いを巡らせた場所です。ところが近年、草原の管理放棄地が増えて危機的な状況になりつつあります。

阿蘇花野協会の主な目的は、管理放棄された草原を買い上げ、もとの素晴らしい草原に再生することです。

なお人為的な播種、植替え、施肥、防除などは厳しく禁止しています。その結果、ハナシロソウ、ヒメユリ、ツクシトラノオなどの多くの絶滅危惧種（環境省基準）が見事に復活してきました。これは新しいコモンズ（共有地）の姿を示していると思います。

四季折々の希少植物を観察できることは種の保存の価値であり、また市民の方々は健康に結び付く癒し効果を得ることができます。この効果は国の研究機関により心理的、生理的、脳科学的に実証されつつあります。情報社会が急速に進みストレスが多い環境ですが、四季折々の花々で心の豊かさを得ていただけるような組織になれば幸いです。

活動報告

令和3年度
夏の阿蘇野の花観察会 7月3日(土)
盛夏の阿蘇野の花観察会 8月8日(日)

夏の観察会 2021.7.3

「阿蘇野の花観察会」は、2018年まで春・夏・秋の3回を開催していましたが、ここ数年新会員が毎年30名前後入会していただいていた急増していることもあり、2019年から春(4月)、初夏(6月)、夏(7月)、盛夏(8月)、秋(9月)と5回開催しています。令和になっておよそ100名の方に入会していただいておりますが、ぜひ観察会に参加していただき、ひと月ごとに大きく変化してゆく阿蘇の花野を楽しんでいただければと思います。

【夏の阿蘇野の花観察会(7月3日(土))】

令和3年7月3日に開催した夏の「阿蘇野の花観察会」は、21名の参加申込みでしたが、梅雨時で雨予報となってしまう、参加人数は15名と少なくなっていました。雨の天気予報でしたが、何とか雨に降られることもなく観察会を実施することが出来ました。ノハナショウブやチダケサシなどが群生し、ヒメユリもたくさん見られるようになり壮観な、よい観察会となりました。

【盛夏の阿蘇野の花観察会(8月8日(日))】

約1ヶ月後の令和3年8月8日、盛夏の「阿蘇野の花観察会」を開催しました。この観察会も34名の参加申込みがありましたが、やはり雨の予報だったため参加者は18名でした。この観察会も、なんとかぎりぎり雨に降られることなく実施することが出来ました。道沿いにはカワラナデシコやオミナエシなどの秋の七草、ムカゴソウやツクシトラノオが咲き、草原の中に入るとヤツシロソウの群生も見ることができ、参加された方々は大満足の様子でした。



ヒメユリ 2021.7.3



ノハナショウブ



ナンテンハギ



ツクシトラノオ



盛夏の観察会 2021.8.8



ヤツシロソウの群落

秋の「阿蘇野の花観察会」

9月11日(土) 予備日:12日(日)

令和3年度の秋の阿蘇野の花観察会を下記の日程で行います。秋の草原に咲いているヤマハギやオミナエシなどの秋の七草やワレモコウ、シラヤマギク、ヤナギアザミなどを観察します。



期 日 : 令和3年9月11日(土) 予備日:9月12日(日)
 場 所 : Pro Natura Reserve阿蘇花野トラスト(阿蘇郡高森町野尻)
 時 間 : 朝10時~お昼12時 30名程度募集
 集 合 場 所 : 阿蘇花野トラスト駐車場(野焼きの時の放牧地駐車場)
 <9時50分までに集合してください。>
 内 容 : 阿蘇の野の花の観察および野の花パトロール
 持 ち 物 : 弁当、飲物、帽子、軍手、メモ帳、筆記具、スマホかタブレット(お持ちであれば)

- 参加者にはボランティア保険をかけます。
 参加希望の方は、阿蘇花野協会事務局まで、e-mailか電話、FAXにて、住所・氏名・電話番号を明記の上、**9月8日(水)まで**にお申し込み下さい。
 ◆電話 : 096-240-2906 ◆FAX : 096-300-3339 ◆e-mail : info@asohanano.com

小雨決行です。大雨警報発令や台風接近などの場合は翌日に延期します。

当日の実施の有無は朝6時以降に、事務局(096-240-2906)にお問い合わせください。

草刈り・草集め、防火帯作り

9月~10月

令和元年度の草刈り・草集め、防火帯作りを下記の日程で実施いたします。

▶草刈り・草集めは、ツクシマツモトやカワラナデシコが群生しはじめたおよそ1haの草原について実施します。まだ草が緑色をしている10月に刈り取ることによってススキの成長が抑えられ、さらにたくさんのお花たちが咲く草原へ変貌していきます。

▶防火帯作りは、野焼きをより安全に行うための作業で、隣接する人工林との間に延焼を防ぐための空地を作ります。刈払い機が使える方は草刈りを、それ以外の方は防火帯を焼くのを安全にするための草集めや防火帯焼きの作業を手伝っていただきます。どれも大変な作業ではありますが、それぞれ半日ほどの作業です。体力に合わせて少しずつでかまいませんので、ご協力よろしくお願いします。

期 日 : ◆防火帯作り 9月18日(土) 予備日:9月19日(日)、20日(月・敬老の日)
 ◆草刈り 10月2日(土) 予備日:10月3日(日)
 ◆草集め 10月9日(土) 予備日:10月10日(日)

※募集人数:防火帯作り、草刈り:各回5~10名程度。草集め:30名程度。

※刈払い機による草刈りの経験のない方は、草集めへの参加をお願いします。

※草集めが一番人数を必要とする作業です。多数の参加をお願いします。

場 所 : Pro Natura Reserve阿蘇花野トラスト(阿蘇郡高森町野尻)

時 間 : 朝10時~午後3時(4時間ほどの作業です)

集 合 場 所 : 阿蘇花野トラスト駐車場(放牧地) <9時50分までに集合してください。>

服 装 : 長袖、長ズボンで作業のできる服装

準 備 物 : 刈り払い機、レーキ、鎌、弁当、飲み物、タオル、軍手、雨具

※刈払い機、レーキ、鎌、燃料等の作業道具は当協会では準備しますが、可能な方は持参いただくと助かります。

※草集めの方が多くの人員を必要とします。体力に合わせてできますので、できるだけ草集めをお願いします。

- 参加者にはボランティア保険をかけます。
 参加希望の方は、阿蘇花野協会事務局まで、e-mailか電話、FAXにて、住所・氏名・電話番号を明記の上、**実施日の3日前(水曜)まで**にお申し込み下さい。
 ◆電話 : 096-240-2906 ◆FAX : 096-300-3339 ◆e-mail : info@asohanano.com



小雨決行、大雨・警報発令中・台風接近などの場合は延期します。

当日の実施の有無は朝6時~9時までに、事務局(096-240-2906)にお問い合わせください。

本年度の活動スケジュールです。

NPO法人阿蘇花野協会の令和3(2021)年度スケジュールは、下記のとおりです。

各活動については事前にご案内をお送りし、参加者確定の上で実施いたします。ふるって、ご参加ください。

●阿蘇野の花観察会 ●草刈り・防火帯作り ●野焼き ■会報誌発行 ★調査研究活動

2021年度の活動スケジュール

4月	●春の阿蘇野の花観察会 4月29日(木・昭和の日) ※小雨決行 阿蘇花野トラスト地 サクラソウ、フクジュソウ、キスミレ、ヒトリシズカなど	済
6月	●初夏の阿蘇野の花観察会 6月12日(土) 予備日:6月13日(日) 阿蘇花野トラスト地 ハナシノブ、ベニバナヤマシャクヤク、ツレサギソウなど ■会報誌「花野たより Vol. 53」発行	済
7月	●夏の阿蘇野の花観察会 7月3日(土) 予備日:7月4日(日) 阿蘇花野トラスト地 ヒメユリ、ツクシマツモト、ユウスゲ、ノハナショウブなど	済
8月	●盛夏の阿蘇野の花観察会 8月8日(日) 予備日:8月9日(月・振替休日) 阿蘇花野トラスト地 ヤツシロソウ、カワラナデシコ、オミナエシ、ワレモコウなど ■会報誌「花野たより Vol. 54」発行	済 本号
9月	●秋の阿蘇野の花観察会 9月11日(土) 予備日:9月12日(日) 阿蘇花野トラスト地 ハナカズラ、イヌハギ、シオン、オオユウガギク、ヤマジノギクなど ●防火帯作り 9月18日(土) 予備日:9月19日(日)、9月20日(月・敬老の日) ●県支援事業・防火帯作り 9月21日(火) 予備日:9月22日(水) ●県支援事業・防火帯焼き 9月27日(月) 予備日:9月28日(火)	募集 募集
10月	●草刈り 10月2日(土) 予備日:10月3日(日) ●草集め・野草コンパクト作り 10月9日(土) 予備日:10月10日(日) ●野草コンパクト作り 10月10日(日)～野焼きまで	募集
1月	●茅刈り講習会 2022年1月10日(月・成人の日) 予備日:1月11日(火) ●茅刈り 1月11日(火)～野焼きまで ■会報誌「花野たより Vol. 55」発行	
2月	●県支援事業・野焼き初心者研修会 1月～2月に4回実施	
3月	●阿蘇花野協会・野焼き初心者研修会 2022年3月6日(日) ●野焼き 2022年3月20日(日) 予備日:3月21日(月・春分の日)以降に順延 ■会報誌「花野たより Vol. 56」発行	

阿蘇花野協会は、下記の各団体からの寄付・助成金を受け、活動しています。



社団法人 日本ナショナルトラスト協会
The Association of
National Trusts in Japan



pro natura
Foundation-Japan

財団法人 自然保護助成基金



一般財団法人
セブン-イレブン記念財団



公益信託大成建設 自然・歴史環境基金



環境省
Ministry of the Environment



PASONA

発行



認定NPO法人

阿蘇花野協会

〒862-0912 熊本市東区錦ヶ丘3番15号
TEL:096-240-2906 FAX:096-300-3339

東京五輪は閉幕しましたが、新型コロナウイルス感染症は予想を超えて悪化し、一方で豪雨被害も各地で発生。被害に遭われている皆様にお見舞い申し上げます。様々な異常や変動が起きていますが、自然に寄り添って地道に活動していくのが当協会の使命だと考えます。今後ともご協力をお願いします。

k.mori@airs.ne.jp (広報担当: 森)